

臨床研究サマーセミナー

京大MCR教授陣と学ぶ (ウェビナー)

2021年8月29日(日) 10:00～18:30

日時

(9:45開場) 定員：約70人 参加費無料

臨床研究について本格的に学びたい、最新状況を知りたいという声は、日本の臨床医の間で大変良く聞かれるようになりました。しかし、体系的に臨床研究を学ぶために臨床の現場経験を中断することや、国内留学での大学院入学へのハードルは、依然として高い状況です。そこで、臨床研究に関心のある臨床医向けに、最先端の一端に触れていただこうと考え、本企画を立案しました。

2005年以降日本の臨床研究教育をリードする、京都大学の臨床研究者養成 (MCR; Master of Clinical Research) コースのエキスパート教授陣によるミニレクチャーと、グループワーク形式のワークショップによるウェビナーを通じて、臨床研究の最新状況や考え方に触れ、今後のキャリア形成の一助にいただければと思います。

時間	講演、グループワークタイトル
10:00-11:15	MCR教授陣によるミニレクチャー 1 (各20分) 疫学・予防医療学分野 石見 拓教授 「MCRで作上げたエビデンスで世界の蘇生ガイドラインが変わった! 胸骨圧迫のみの心肺蘇生の有効性を示す論文の作成過程と社会実装の試み」 健康解析学講座 医療疫学分野 山本 洋介教授 「健康関連QoL 臨床研究への活用法」 健康管理学講座 健康情報学分野 中山 健夫教授 「診療ガイドラインの今・これから」
11:30-13:00	グループワーク (1) 論文の批判的吟味
13:10-15:00	MCR教授陣によるミニレクチャー 2 (各20分) 健康管理学講座 医療経済学分野 今中 雄一教授 「医療の質と経済性」 健康要因学講座 健康増進・行動学分野 古川 壽亮教授 「21世紀のEBM:エビデンス統合から個別化エビデンスへ」 健康解析学講座 薬剤疫学分野 川上 浩司教授 「医療リアルワールドデータ、ライフコースデータ基盤の構築と、大規模データの臨床疫学や予防医学への活用」 国際保健学講座 社会疫学分野 近藤 尚己教授 「患者の孤立・孤独・貧困に着目した医療とその評価」 ・質疑応答 (30分)
15:00-17:00	グループワーク (2) 臨床研究をデザインしよう
17:00-17:40	臨床研究教育に関わるMCR各分野の紹介
17:40-18:30	オンライン懇親会 (自由参加) (各分野の教授グループに分かれてお話できます)

MCR教授陣



- 対象: 臨床研究に興味のある医師 (原則終日出席できる方) ●会場: Zoom会議室による遠隔開催
- 申し込み方法: 参加申し込みフォーム <https://forms.gle/9ciVUk7N5jBSjRm38>
もしくは、右QRコードよりお申込み下さい。

